

## 27年度通常総会議事録

- 1 日 時 平成 27 年 6 月 27 日（土）15 時 30 分～17 時
- 2 場 所 社会福祉法人 東海村社会福祉協議会 東海村ボランティア市民活動センター  
「えがお」1 階活動室 2
- 3 出席者数 正会員 12 名、委任状提出 4 名（5 月 31 日時点での正会員数 20 名）  
＜出席者名＞佐藤（隆）、土屋、寺西、池田、中村、小宮山、服部、清水（立）、清水（和）、  
恵利、遠藤、村松（以上、正会員）、  
佐藤（稔）、阿部（功）、津端（以上、活動会員）
- 4 議長および議事録署名人について
  - ・佐藤隆雄代表理事が議長として議事進行を行った。
  - ・議事録署名人として、中村洋平と土屋智子が議長より指名された。
- 5 審議事項
  - ① 26 年度事業活動報告
  - ② 26 年度収支決算報告  
松村健監事より、「26 年度収支決算報告について表と領収書との照合結果、適正である」との監査報告がなされた。
  - ③ 27 年度事業活動計画
  - ④ 27 年度収支予算
  - ⑤ 定款の変更
  - ⑥ 理事の改選

土屋事務局長が上記審議事項を説明し、全員賛成で議案どおり可決された。  
主な内容は次の通り。

- ・⑤項 定款の変更について  
平成 24 年度に行われた法改正を踏まえ、文言の変更、書面決議の追加、総会と理事会決議事項の重複の整理、事業年度の変更などを行った。認証事項が含まれるため、茨城県の認証後新しい定款を施行する。
- ・⑥項 理事の改選について  
投票結果を踏まえて、現行理事を再任する。ただし、今後理事の投票制度や任期、再任回数などを議論し、会員にはかるものとする。  
代表理事：佐藤隆雄  
副代表理事：中村洋平  
理事：谷口武俊、服部成雄、土屋智子（事務局長兼務）  
監事：村松健

### 6. 主な質疑応答・意見

- ・①項 26 年度事業活動報告 について  
Q：ホームページの更新はどの程度行われているのか。  
土屋：月 1 回を努力目標にしている。今年中には主たる事業所を東海村にした構成に変えたいと考えている。

Q：東海村の受託事業で会員に求められることはあるのか？

土屋：特にないが、受託事業で企画した行事には積極的に参加していただきたい。

・②項 26年度収支決算報告 について

- ・ 毎年のことであるが、税金の負担が重い。広報誌の印刷代と配布業務の委託費も削減することを検討すべきではないか。例えば、村の印刷機を使ってはどうか。自治会の回覧で配布することもあるのではないか。
- ・ 以前、村の印刷機で印刷したこともあるが、カラー写真が使えないうえに、印刷ミスも多く大変だった。村の回覧制度は使えないし、そもそも自治会加入率は50%である。
- ・ 今回少し赤字が減ったが、これは持続可能なのか？
- ・ 赤字で解散した時の処理はどうするのか？ 定款に書かなくてよいのか？
- ・ 黒字でも赤字でも解散するときには総会を開いて処理方法を決定することが必要。
- ・ 今後は黒字が出たら積立金のようなものをして、不測の事態に備えることが必要。
- ・ 大震災前にはかなりの黒字だったため、震災後に多くの広報誌を発行できた。今はできないが、いずれ積立金のようなものを検討したい。
- ・ 事務局長に業務が集中しすぎている。仕事の補助する人が必要ではないか？
- ・ 会員を増やすことが根本的な解決だが、これは非常に難しい。
- ・ どこかの支援に応募してはどうか？
- ・ いろいろトライしてきているが、採用されなかったり、採用されると報告書作成などで業務負担が増えてしまったりと簡単ではない。
- ・ 我々の活動は、原子力の推進側でも反対側でもなく、原子力事業所にも行政にも意見を言ってきた。このしーきゅうぶの自由さをどうやって維持するかを考える必要がある。
- ・ 会員を増やす努力も、支援を受ける試みもうまくいっていない。事業を行うには責任が伴うことも考える必要がある。
- ・ 印刷費と配布業務の費用が一番問題。
- ・ シルバー人材センターに委託せずに、自分たちで何日か次の定例会で話し合っってはどうか。

・③項 27年度事業活動計画

- ・ ワンコイン講座の企画を考えてはどうか。参加人数の想定が10名だが、もっとたくさんの人に来てもらう企画を考える必要がある。
- ・ 400人を集めた映画鑑賞会を実施した。監督が来場するということがあったが、ツイッターやフェイスブックで何度も情報を流した。
- ・ 我々の活動もSNSを活用して多くの人に知らせてはどうか。
- ・ 以前、働いているので平日は参加できないからネット上で意見交換ができないか、との提案をいただいたことがある。
- ・ 同じ内容でもよいので、頻繁に情報を更新することが重要。いつ情報を更新するかで、情報を見てくれる世代も異なる。
- ・ 広報誌を全戸配布することもあるだろうが、SNSをもっと活用してはどうか。
- ・ 情報発信の件も、今後きちんと議論していくことが必要。
- ・ 若い人にどんどん入ってもらうには、例えば年会費を1000円にするなどの工夫が必要ではないか。
- ・ 若い人への働きかけは賛成である。学校なども、特定の活動団体ではなく村の事業であれば、生徒や先生に参加を奨めることは可能とのことであった。もっと積

極的に働きかける必要がある。


・⑤項 定款変更について

Q：今回書面決議が可能となったが、メールなどで正会員の賛否を問うことができるのか？


・可能であるが、書面決議の場合、全員の意思表示が必要なので、そう簡単ではない。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人が次に署名押印する。

平成 27 年 7 月 14 日

代表理事 佐藤 隆雄 

副代表理事 中村 洋平 

理事 土屋 智子 

この写しは議事録の原本と相違ないことを証明する。

平成 27 年 7 月 14 日

名称 特定非営利活動法人 HSE リスク・シーキューブ  
茨城県那珂郡東海村白方中央一丁目 1 番 5 号

代表理事 佐藤 隆雄 